

茂原市学校再編第一次実施計画【抜粋版】

平成30年3月 茂原市教育委員会

1. 計画の概要

計画期間は平成29年度（2017年度）から平成32年度（2020年度）までの4年間とし、西陵中学校と富士見中学校の統合、二宮小学校と緑ヶ丘小学校の統合を実施します。また、本納小学校、新治小学校及び豊岡小学校の3校統合に向け準備を行います。

2. 西陵中学校と富士見中学校の統合

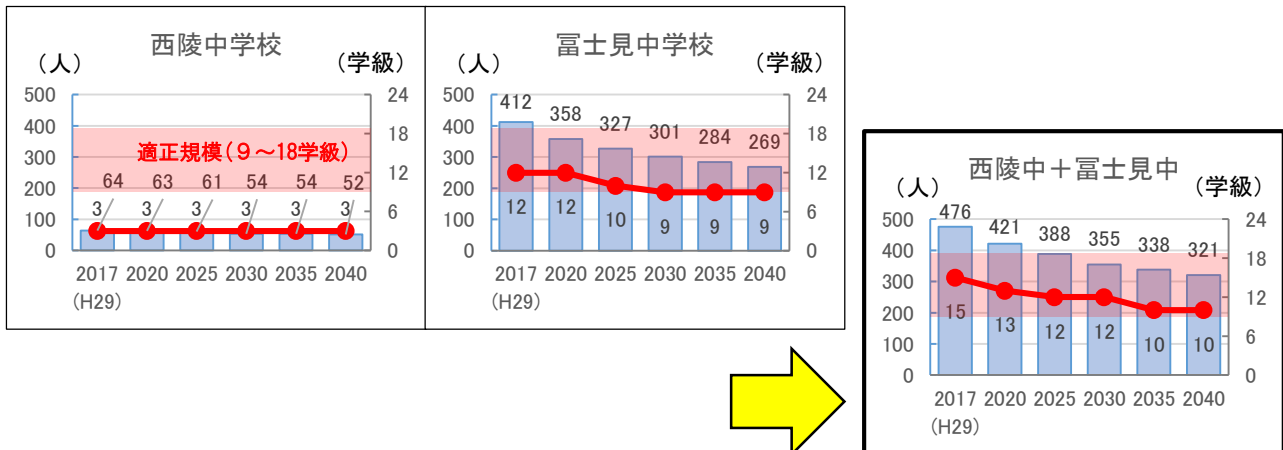
統合時期	平成32年（2020年）4月1日	使用校舎	富士見中学校
通学区域	現行の両中学校区を合わせた区域		

西陵中学校と富士見中学校の統合については、基本計画策定前の平成21年から検討されており、すでに方向性を決定しております。今後はこの統合についても実施計画に含め、他の学校再編と一体的に進めていきます。

【主な経緯】

- 平成21年 ・西陵中の小規模対策について検討を開始
- 平成23年 ・富士見中と西陵中の「学校選択制」を導入
(平成25年度入学生まで、後に延長し平成29年度入学生まで)
- 平成29年4月 ・平成32年4月1日に富士見中へ統合することを教育委員会会議で議決

【生徒数の推計】 ※縦棒は生徒数（左軸）、折れ線は普通学級の学級数（右軸）



【今後のスケジュール】

【今後のスケジュール】		第一次実施計画				第二次
年度		H29 (2017)	H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)	H33～H37 (2021～2025)
内容						
統合準備委員会での協議						
交流事業の実施						
通学路の検討						
富士見中学校校舎 大規模改造 ※			(設計)	(入札・工事)		
統合の実施						

※大規模改造とは、築年数の経過により通常発生する建物の損耗、機能低下に対する復旧措置や改装等を行う事業のこと。

3. 二宮小学校と緑ヶ丘小学校の統合

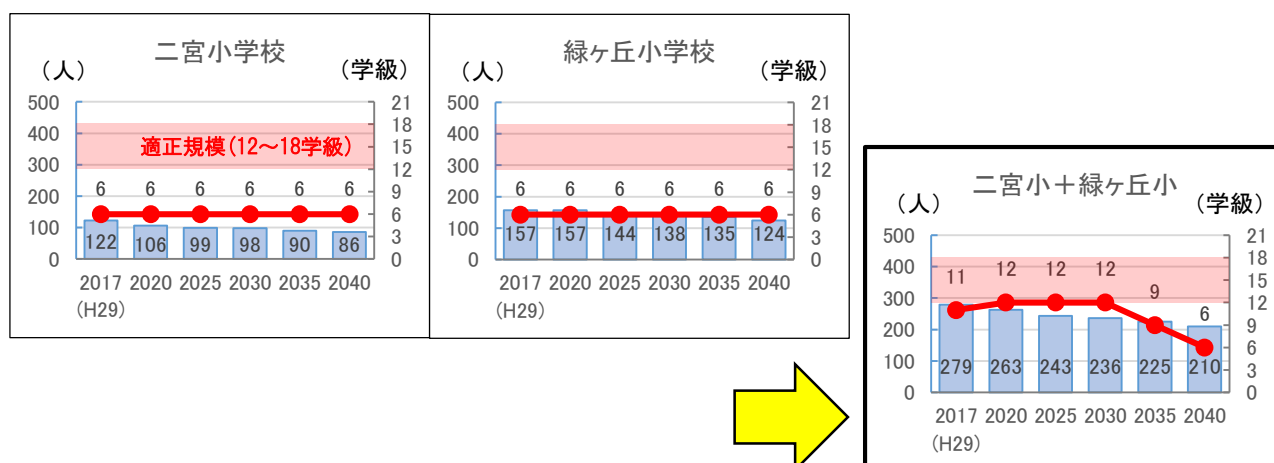
統合時期	平成 33 年（2021 年）4 月 1 日	使用校舎	緑ヶ丘小学校
通学区域	現行の両小学校区を合わせた区域		
検討事項	・スクールバス等の通学手段の検討 ・校名、校歌、校章の検討 ・統合に関する準備委員会の設置、協議 など		

二宮小学校と緑ヶ丘小学校は、平成 29 年 5 月 1 日現在、いずれも全学年が単学級となっており、今後も減少が続くものと見込まれるため、この両校を統合します。

使用校舎については、校舎の新しさ、使用できる教室数、敷地面積などを考え、緑ヶ丘小学校を使用します。ただし、校名や校歌、校章等については、住民の意見等を踏まえて検討することとします。

また、真名や黒戸など一部地区の通学距離が長くなるため、地域住民や保護者の意見を聞きながら、スクールバス等の通学手段について、導入の有無を含めて検討します。

【児童数の推計】 ※縦棒は児童数（左軸）、折れ線は普通学級の学級数（右軸）



【今後のスケジュール】

内容	第一次実施計画				第二次
	H29 (2017)	H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)	H33~H37 (2021~2025)
統合準備委員会の設置・協議		→	→	→	
通学路や通学手段の検討		→	→	→	
学童クラブの検討・準備		→	→	→	
交流事業の実施		→	→	→	
統合の実施					●→

※本計画では、市の内部基準により和暦と西暦を併記しています。

また、計画の全文は市ホームページで公開しています。

茂原市教育委員会 教育部教育総務課
TEL 0475-20-1557

4. 本納小学校、新治小学校、豊岡小学校の統合

統合方針	3 小学校を統合し、特色ある教育を推進する
検討事項	・ 統合後の校舎の場所の選定 ・ 新治小学校の小規模対策の検討 ・ スクールバス等の通学手段の検討 ・ 校名、校歌、校章の検討 ・ 統合に関する準備委員会の設置、協議 ・ 統合にかかる予算の確保 など

○現状

本納地区には、本納小学校、新治小学校、豊岡小学校の 3 校がありますが、平成 29 年 5 月 1 日現在いずれも適正規模を満たしておらず、今後も児童が減少し近い将来全学年が単学級になると見込まれます。特に新治小学校は市内で唯一複式学級¹⁾が存在する学校となっています。また、本納中学校も現在適正規模を満たしておらず、将来的にも生徒数の減少が見込まれる状況です。

○方針

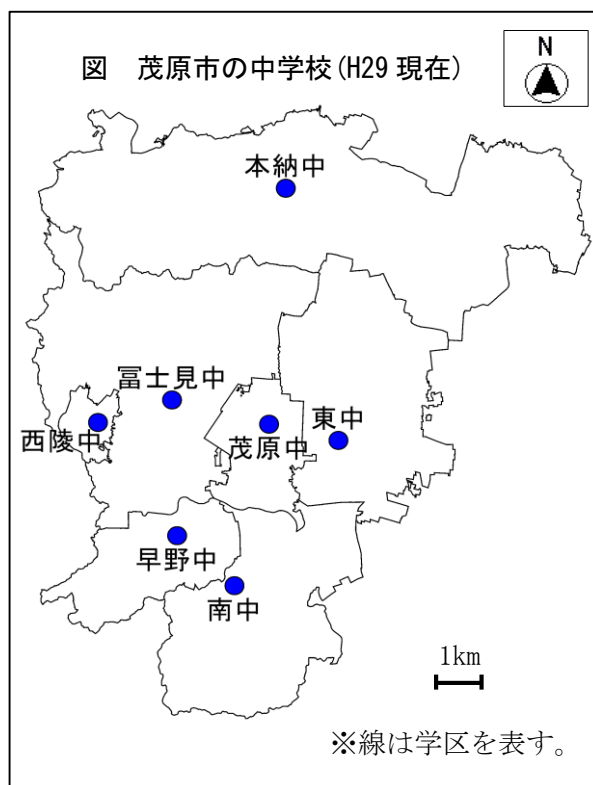
3 つの小学校は、将来的にいずれも小規模化が見込まれていることから、3 校を統合することとします。一方、本納中学校についても小規模化が見込まれますが、他の中学校へ統合した場合、市北部地域から中学校がなくなってしまう(図参照)、通学範囲等を考慮すると生徒の負担が大きく、望ましい教育環境にはならないため、統廃合はせず存続させることとします。

そして、3 小学校の統合を機に、本納地区における特色ある教育を推進します。統合後の小学校の位置は、小中一貫教育を視野に入れ、本納中学校付近を中心に検討します。

時期については、市の次期総合計画²⁾等との整合を図りながら、第二次実施計画期間内(平成 33 年度～37 年度(2021 年度～2025 年度))での統合を目指します。

統合までの間は、新治小学校の小規模対策として、学校間の交流事業をより充実させるほか、さまざまな手段を検討し実施していきます。

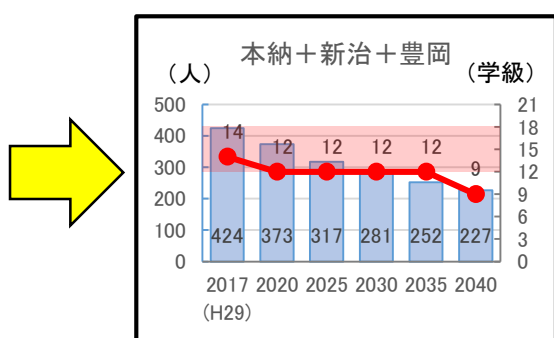
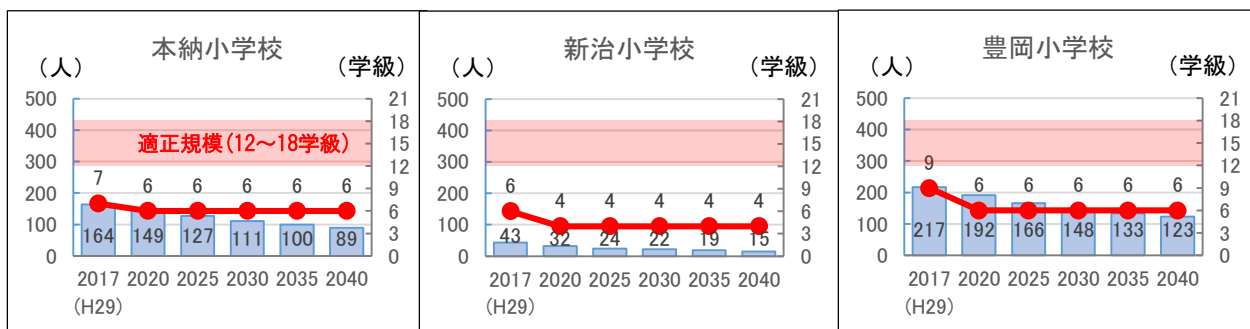
なお、統合により通学区域が非常に広範囲となるため、スクールバスなどの通学手段を必ず確保します。



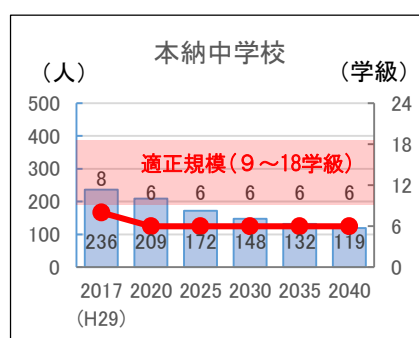
¹⁾ 複式学級：児童生徒が極めて少ない場合、複数の学年（例えば 5 年生と 6 年生）を合わせて 1 つの学級とするもの。

²⁾ 総合計画：市のまちづくりの基本理念や方向性を定めた、行政運営の基本的指針となる計画。平成 33 年度(2021 年度)から次期計画期間となる。

【児童数の推計】 ※縦棒は児童数（左軸）、折れ線は普通学級の学級数（右軸）



(参考)



【今後のスケジュール】

内容	年度	第一次実施計画				第二次
		H29 (2017)	H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)	H33～H37 (2021～2025)
新校の場所の調査・選定						
小中一貫教育等の研究						
新治小の小規模対策事業 検討・実施（交流含む）						
統合準備委員会の設置・協議						
通学路や通学手段の検討						
学童クラブの検討・準備						
統合の実施						

5. その他

早野中学校は、現在適正規模を満たしておらず、今後も減少するものと見込まれます。今後、通学区域の見直しを含め、早野中学校のあり方について検討していきます。

他に、鶴枝小学校、西小学校なども適正規模を満たしておりませんので、地理的要件なども踏まえ、今後の児童生徒数の推移を見ながら再編の必要性を検討していきます。

【今後のスケジュール】

内容	年度	第一次実施計画				第二次
		H29 (2017)	H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)	H33～H37 (2021～2025)
児童生徒数の推計見直し						
早野中についての検討						
他の小中学校の検討						
第二次実施計画策定						